

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳中学校

a 学校教育目標	夢や目標に向かって粘り強く 頑張る生徒を育てる —夢や目標への自律的挑戦—	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命)変化が激しい社会の中で、他者と協働しながら課題を解決していく力を備えた生徒を育成し、地域に貢献する。 〈ビジョン〉(将来の学校像)学校と地域が両輪となり、生徒が目標に向かって安心して学ぶことができ、挑戦できるような学校を目指す。
----------	---	----------------------	---

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	現状 学力や体力は概ね身に付いているが、傾向としては二極化している。また、自分の意見や考えを他者に伝えるための表現力にも課題がある。 重点 1 主体的、対話的な学びを通して、生徒が知識・技能を習得し、深めていけるよう、「学び合い」を大切にした授業づくりを進めていく。 2 生徒が自己有用感・自尊感情を高めることができるよう、生徒の活躍の場を設定し、キャリア教育を充実させる。 3 防災教育の深化を図り、自分の命は自分で守る力を育成する。
--------------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性
-------------	-------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから①・②・③年目)					自己評価							
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	上半期			下半期			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
** * 確 かな 学 力	主体的・対話的な学 びを通して、生徒が 知識・技能を習得 し、深めていく。	① 生徒が主体的に学 ぶ授業づくりを行 う。 主体的に学習でき る生徒を育てるた めに授業と家庭学 習の連動を図り、学 習習慣づくりをする。	互いの考えを深め合う場面を 効果的に取り入れ、「学び合 い」を大切に、対話的な授業 づくりを進める。	自分の考えを友達に伝え たりまとめたりすること のできる生徒の割合(生徒 アンケート)	90%							
			タブレットのAI教材も活用しな がら、10分×学年+10分以上 の家庭学習の定着を図る。※ 学年は、1年生を7年生とする	学年に応じた家庭学習時 間の平日の達成率(生徒 アンケート)	90%							
			「学び方5」を通して学び方 を改善させ、授業時や家庭学 習の主体的な学びを充実させ る。	「学び方5」を意識して学 習に取り組んでいる生徒 の割合(生徒アンケート)	90%							
** 豊かな 心	生徒の活躍の場と キャリア教育の充実 により、自己有用 感・自尊感情を高 める。	① お互いを認め合い、 生徒一人一人が活 躍できる学校・学 級集団づくりを推 進する。	学校行事や生徒会行事等で、 生徒執行部や生徒一人一人 が主体となって活躍する場 を設定する。	学校行事に満足している 生徒の割合(生徒アン ケート)	90%							
			よりよい学級集団づくり及び異 年齢集団活動を通して、生徒 の主体的な活動を促す。客観 的なデータを用いて個々の状 況把握に努める。	学級に満足している生徒 の割合 (Hyper-QUのデータ)	90%							
			② 地域等、校外の専門職の方 から学ぶ機会をつくり、モデル となる生き方に触れ、「生き方学 習」を充実させる。	将来の夢や目標をもっ ている生徒の割合(生徒 アンケート)	85%							
* 健 や かな 体	基本的な生活習慣の 確立と体力の向上 を図る。	① 「早寝・早起き・朝ご はん」の定着を図 る。	栄養教諭や生徒委員会活動、 PTA活動を活用し、食生活や 生活リズム改善の啓発を行う。	朝ごはんを毎朝食べてい る生徒の割合(生徒アン ケート・保護者アン ケート)	100%							
			② 体力(走力・持久力・ 投力)の向上を図 る。	体育科の授業等での補強運動 を充実させ、小中で連携して重 点種目に取り組む。	運動やスポーツが好きな 生徒の割合(全国体力・ 運動能力、運動習慣調 査)	85%						
			③ 防災教育の深化を 図る。	白岳中学校区の防災の日を活 用し、避難訓練等防災教育の 内容を深化させる。	災害時に避難する場所 や避難の仕方について 理解している生徒の割合 (生徒アンケート)	100%						
業 務 改 善	教職員が自らの意 欲と能力を発揮でき る教育環境を整備 する。	生徒と向き合う時間 の確保	会議時間の短縮 学年・分掌業務の割り振り	生徒と向き合う時間が確保 されていると感じる教職員の 割合(教職員アンケート)	80%							
		長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底 部活動休養日の定着	時間外勤務が月45時間を超 える教職員の割合	30% 未満							
い じ め の 防 止	安全・安心な学校風 土の醸成を図る。	いじめや暴力行為 等を許さない学校環 境づくりを推進す る。	いじめ撲滅キャンペーン中に生徒 会執行部主体の活動を実施する。	いじめはどんな理由があっ てもいけないことだと思っ た生徒の割合(生徒アンケート)	90%							

【k:評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60